

# Flags

自動認識の世界をより身近に

vol.111 2014  
8月号

## 『GS1識別コードの解説とご紹介』

先月号では、バーコードの国際規格を策定・管理する国際組織であるGS1(=Global Standard One)が標準化するGS1データキャリア(シンボル種)についてご紹介いたしました。

今月は標準データキャリアに格納される“GS1識別コード(データ体系)”についてご紹介します。



### MTSのソリューション・パッケージ GS1-チェッカー

使いやすさと機能を両立した高性能モバイル・ハンディターミナル「TBR-6020D」をベースとしたGS1コードフォーマットチェッカーです。

医療用医薬品表示ガイドラインで定めるバーコード表示をいつでもどこでもGS1/GS1 合成シンボルの印字内容が規格に準拠しているかを確認できます。

#### GS1 識別コードとは?

GS1 識別コードとは、商品やサービス、場所、資産管理など様々な用途に応じた識別コードが定められており、世界で唯一の識別を可能にした国際標準コードなのです。

GS1 識別コードは、図1の様にGS1事業者コードを元に様々な番号を組み合わせ、商品やサービスを特定する商品識別コード(GTIN)から企業や事業所の特定コード(GLN)、通い容器や資産の管理コード(GRAI)などで使用されます。

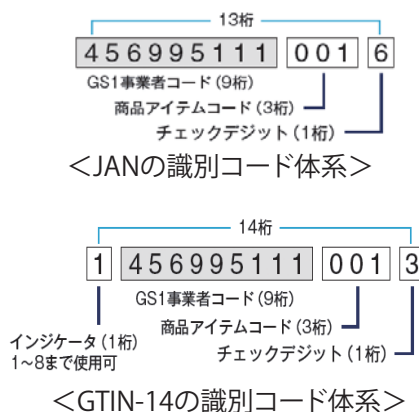
#### 様々なGS1 識別コード

##### ◎GTIN (=Global Trade Item Number)

商品識別コードの総称で、一般的に広く知られているJANコードを始め、UPCコード、集合包装用商品コードなどがあります。

コードの桁数を14桁にした集合包装用商品コードはGTIN-14と呼ばれ、企業間の取引単位である集合包装単位の商品に割り付けられる識別コードとして、物流現場では古くからITF(段ボールバーコード)として利用されています。

医薬品業界では近年、GS1-Databarの利用が進んでいます。



##### ◎GLN(=Global Location Number)

企業・事業所の識別コードで、企業間取引で必要となる各事業所や部門、倉庫などの場所を世界で唯一の識別コードに設定できます。

流通BMSなどの企業間電子データ交換(EDI)に受信先の識別コードとして世界的に利用が進んでいるコード体系です。

##### ◎GIAI (=Global Individual Asset Identifier)

企業の資産を管理するための識別コードで、レンタル品・リース品の管理や、手術用具・医療器具のメンテナンス管理、トレーサビリティなど、個々を識別する必要がある物品の管理で利用されています。

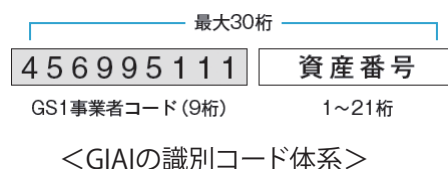
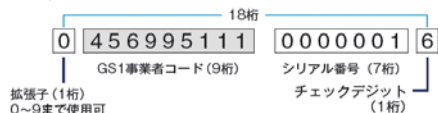


図1. GS1識別コードの組み合わせ例

## ◎SSCC (=Serial Shipping Container Code)

連続出荷コンテナコード (Serial Shipping Container Code)は、国内および国際間取引における物流単位(パレット、ケース、カートン等)を識別するための国際標準コードで、欧米では古くから物流・出荷等の現場で利用が進んでいます。

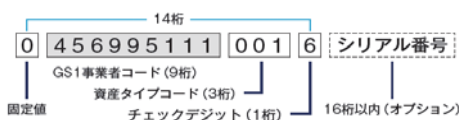


<SSCCの識別コード体系>

## ◎GRAI (=Global Returnable Asset Identifier)

カゴ台車や折り畳みコンテナなどの、企業間で繰り返し利用する資産を管理するための識別コードです。

GS1-128 シンボルや電子タグなどによる利用が進んでおり、資産追跡、メンテナンス管理の向上などを目的に利用が始まってきています。



<GRAIの識別コード体系>

## ◎その他の識別コード

上記で紹介した以外でも、今後唯一の識別管理が必要な業界に向けて下記のような識別コードの利用が期待されています。

GSRN (=Global Service Relation Number) : サービスの提供者と利用者を管理するための識別コードで、店舗、図書館、病院などでの利用が期待されています。

います。

GDT I (=Global Document Type Identifier) : 管理が必要な文書の識別コードで、通関申告書や保険証券などへの利用が期待されています。

GCN (=Global Coupon Number) : クーポンのための識別コードで、インターネットの普及に伴いクーポン券の電子化が進んでおり、携帯電話での利用が想定されています。

## GS1 識別コードを利用するには

GS1 識別コードは、前号で紹介したバーコード、2次元コード、電子タグなどの GS1 標準データキャリアを用いて商品などに表示します。

JAN、ITF 以外のバーコードを用いる場合には、これらの GS1 識別コードの先頭に“GS1 アプリケーション識別子(AI)”というデータ項目を判別するための識別子を付加する必要があります。

AI については次号にて詳しくご紹介いたします。

バーコードや IC タグの採用ご検討時は、業界標準や行政通達などで標準化が推進されている場合もありますので、担当営業までお気軽にご相談ください。

展示会の無料招待状は当社営業担当へお申し付けください。

## 次号予告

2014年 9月号は・・・

『GS1アプリケーション識別子 (AI) 』  
についてです。

**Flags** 9月号は 9月 8日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。  
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags/フラグス

2014年8月号 Vol.111 2014年8月8日発行

編集・発行 株式会社マーストーンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

### 【第16回自動認識システム大賞 特別賞を受賞しました】

#### 不適切駐輪管理システム「iCycle」



お陰様を持ちまして、昨年10月に筑波大学様に導入させていただきましたUHF帯RFIDを活用した当社の「不適切駐輪管理システム iCycle」がこの度、自動認識システム大賞表彰審査会より、特別賞が授与されました。

無料聴講会を下記の通り執り行います。  
日時:9月10日 午前11:30~12:20  
会場:自動認識総合展・展示会場内発表会場  
※聴講ご希望の方は直接会場までお越しください。

### 【2014国際物流総合展 出展のご案内】



国際物流総合展(LTT)は、2年に1度開催されるアジア最大の物流・ロジスティクスの総合展示会に当社製品を出展いたします。

開催日:2014年9月9日(火)~12日(金)4日間  
開催時間:10:00~ 17:00  
場所:東京ビッグサイト(東京国際展示場)  
当社小間番号:東2ホール 2-705  
今年は10日から3日間は自動認識展と同時開催です。共通入場券が利用できます。



### 【第16回 自動認識総合展 出展のご案内】

開催日:2014年9月10日(水)~12日(金)3日間  
場所:東京ビッグサイト(東京国際展示場)東4ホール  
当社ブース:B-2

この総合展は、バーコード、二次元シンボル、RFID、バイオメトリクスなどの最先端技術を製造、物流、小売り、食品、医療などの分野において、従来からのアプリケーションに加え、トレーサビリティやセキュリティなどの用途として利用が期待される各種ソリューションを網羅しております。  
当社の新製品の数々をご紹介しますので当社ブースまでお立ち寄りください。

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

| 本 社    | 東京都新宿区新宿1-8-5    | 新宿御苑室町ビル         |
|--------|------------------|------------------|
|        | Tel:03(3352)8522 | Fax:03(3352)8579 |
| 名古屋営業所 | Tel:052(565)9091 | Fax:052(565)9094 |
| 大阪営業所  | Tel:06(6353)5476 | Fax:06(6353)6125 |
| 福岡営業所  | Tel:092(441)3638 | Fax:092(441)3639 |
| 日立営業所  | Tel:029(276)9555 | Fax:029(276)9556 |

40<sup>th</sup>  
Mars 40th Anniversary

MTS 株式会社マーストーンソリューション

<http://www.mars-tohken.co.jp>